

平成19年度事業計画

平成19年度は第二次長期10ヵ年計画2年目の年となり、前期行動計画の具体的な企画立案と実行の年となる。早期に着手すべきものとして、広報活動用の作業療法リーフレットや市民向け教育的パンフレットの試行的作成、広報用グッズの製作の他、職域拡大に向けて、各分野におけるプロジェクト立ち上げの準備、生涯教育制度の充実を図るべく、支部開催の各種研修会のサポート強化など、これまでに以上に多くの新規事業がスタートする。また、これに伴い組織強化も順次図ってゆく。今年度は事務局強化として事務所の設置や会計事務所への定期会計業務委託の他、各種規約の見直しを徹底する予定である。経費は大変かかるが、今後2千名を超える会員を支えてゆくには必要な投資と考える。

以上のことから、平成19年度予算は当初予定していた事務員給与、基本財産積立金を圧縮し、事務所設置諸経費、支部開催研修会諸費用、各種会議の開催費、特設委員会の設置などに充当する予定である。

以下に平成19年度事業計画を長期10ヵ年計画の重点項目に沿って詳細に説明する。

1. 社会貢献

長期10ヵ年計画前期行動計画に基づき、これまでの様な作業療法の啓発用リーフレットに加え、市民向け教育的パンフレットを試行的に作成し、広報活動の一助として活用する。パンフレットの内容は、各プロジェクトの成果をもとに、内容は市民にわかりやすく馴染みやすいものとし、「健康の専門職」としての位置づけを促進することで、より多くの市民から理解と協力が求められることを期待する。これに先行して、昨年度試作した広報用グッズ（OTロゴ入り折り紙セット）を必要部数作成し、さまざまなイベントにおいて使用してゆく予定である。

また、各支部での公益活動への参加も活発化してきていることから、今年度も積極的な参加を促すために、昨年度以上に地域連絡費を増額している。

2. 職域拡大

長期10ヵ年計画では、様々な領域での専門職の育成をサポートすることで、各分野におけるエビデンスの確立と専門OTの輩出が目標となっている。これまで学術部ですすめられてきた急性期プロジェクトの報告集は、一つの成果として職域拡大に向けての広報資料となりうることから、今年度は医療のみならず、保健、福祉、教育、就労支援などの分野から複数のプロジェクトチーム立ち上げの準備をすすめる。

3. 質の向上

認定作業療法士、専門作業療法士の質と量を確保するための第一段階として、今年度は支部主催新人研修会を7支部計11回を目標に開催する予定である。受講機会の地域格差をなくすためこれまでも支部開催を積極的に進めてきたが、将来的には全支部で全てのテーマが行えるよう環境配備を数年かけて実施してゆく予定である。これによって支部は企画から運営まで全てを担うことになるが、掛かる経費はこれまで通り全て教育部が持つこととした。一方、支部主催講習会は、道士会講習会の基準に則り、基準を満たしたものは道士会主催講習会と同等の取り扱いとし、講習会の質の確保と併せて受講者の質の確保を図ってゆく。これに掛かる手続きや経費の計上は新人研修会と同様とした。

支部でのスムーズな研修会開催のため、順次パソコン等のOA機器の配備も進めてゆく。今年度は、新規にパソコン及びスキャナーを準備する予定である。これによって、各地で開催される研修会時のOA機器の準備の負担が格段に軽減されるほか、データのセキュリティの向上も図れるであろう。

また、今年度は各種研修会の支部主催への移行期であり、それに伴う事務文書、会計等処理業務が大変煩雑化することが予想されるため、そのサポート体制として支部会計担当者会議を年度当初に予定している。

4. 組織の強化

事務局機能の強化を図ることを主眼として、北海道保健福祉部の指導の基、事務所の設置及び事務員の社会保障(保険等)整備、会計業務委託内容の見直しの他、公益法人制度改革に向けての各種規約の見直しを進めてゆく予定である。事務所は備品等の保管、各種会議の開催、公共交通機関のアクセスや周辺の環境の良さを勘案し札幌駅周辺を検討中である。事務所の維持費には大変多くの費用が掛かるが、職能団体としての活動のみならず、公益法人としての活動もまた、当士会が担わなければならない重要な使命でもあり、この両者を維持、発展させてゆくには必要不可欠なものとしてご理解を頂きたい。

また、各事業の円滑な推進を図るための部長会議の開催や、支部と各部局との連携強化を図るため担当者会議の開催などを予定している。

5. その他の事業

次回診療報酬改定に備えて、昨年度以上の情報収集の徹底と会員への正確且つ迅速な情報の発信のため、その活動費を増額するとともに、保険部活動の拡大を図る予定である。

また、道士会は平成21年に40周年を迎える。これに伴い記念式典の開催を予定しているが、学会との調整なども含めて、実行委員会の立ち上げが必要となる。併せて、白書委員会の立ち上げや名簿の作成など複数の事業が予定されているため、企画調整委員会が調整役として積極的に関わってゆく。

この他、随時必要なプロジェクトを立ち上げると共に、公益性の高いモデル事業についても企画検討委員会で企画立案してゆく。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営；平成19年度定期総会の開催、理事会開催（年7回）、三役会開催（年10回）
部長会議（年2回）
2. 定期刊行物の発送及び保管
3. 公文書接受・発行
4. 士会事務所の移転（6月予定）及び事務員増員の準備
5. 公益法人制度改革に伴う新制度移行への手続き準備
6. 理事研修会の開催
7. 危機管理マニュアルの作成
8. 名簿の作成

[調査部]

1. 会員基本データ管理
2. ホームページの管理運営
3. ホームページの内容の見直し
4. OT協会会員管理システムの管理・運営
5. 事務所移転に伴う諸手続

[渉外部]

1. 行政、他団体関連事業への協力・提言
・地域リハビリテーション広域支援センターへの支援体制の強化
・自治体・関連団体の企画への積極的参加
2. 儀礼、新年交礼会出席
3. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士連絡協議会との連携
4. 当事者団体等への委員・講師派遣、後援協力
5. 公共事業関連の情報収集・企画・運営

[財務部]

1. 平成19年度予算執行の管理
2. 平成19年度中間決算・補正予算
3. 平成19年度収支決算書の作成
4. 平成20年度予算案の作成
5. 会費徴収の整備
6. 公益法人制度改革に伴う新制度移行への財務手続き準備

【学術部】

1. 平成19年度「北海道作業療法」編集、発行
 - ①北海道作業療法24巻第1号編集・発行
 - ②北海道作業療法24巻第2号編集・発行
2. 学術奨励賞の選考及び表彰（小樽学会）
3. 学術情報の提供及び提供方法の検討と報告
4. 学術奨励システムの管理・運営
5. 新規プロジェクトの立ち上げ準備（企画調整委員会と調整）

【教育部】

1. 講習会
 - ・士会主催；5回／年（コミュニケーション(総会)、脳卒中、精神科、心疾患、臨床教育)
 - ・支部主催；10回／（日胆1回、道南1回、道北3回、根釧3回、網走2回）
2. 新人研修会；札幌5回（教育部）
8支部12回（石狩1回、空知2回、道南2回、道北2回、十勝1回、根釧2回、網走1回）
3. 現職者研修会；3回／年
4. PT・OT合同研修会；1回／年（札幌）
5. 協会生涯教育専門コース(研究法)；1回／年(札幌)
6. 支部主催新人研修会及び支部主催講習会開催の援助
 - ・講師依頼文書発行等の手続き支援
 - ・研修会申し込みシステムによる参加者管理支援
 - ・会計業務支援として支部会計担当者会議の開催（1～2回）
7. 次年度に向けての講習内容の検討と企画立案（管理職研修、講師育成プログラム等）
8. 生涯教育制度ポイント認定の運営

【福利部】

1. 新卒者の就職状況把握
2. 新卒者への士会入会勧誘の実施
3. 新会員歓迎会の開催
4. 団体保険管理・運営
5. 研修会等での託児運営支援の実施
6. 福利相談
7. 施設情報メディアの作成
8. 会員の福利厚生に関する新事業の企画・立案（企画調整委員会と調整）
 - ・人材バンクの設置、座談会開催、会員特典等
9. 平成20年新年交礼会実施

【広報部】

1. 道士会ニュースの定期発行(年6回)；紙面の増加
2. 編集マニュアルの作成
3. サテライト通信体制の強化
 - ・サテライト通信員の支局化の具体案の立案
4. 作業療法リーフレットの作成
5. 編集班の複数化の検討と報告
6. 他のメディアを含む広報手段の検討と報告

【事業部】

1. 道庁パネル展；2日間開催（時期未定）
2. OT啓発イベントの開催；JR札幌駅西ロイイベント広場(9月)
3. 市民向けパンフレットの試行的製作
4. OT啓発グッズ及びイベントスタッフ用グッズの作成
5. その他の公益事業の検討と企画・立案(企画調整委員会と調整)
6. 作業療法リーフレット作成の援助

【保険部】

1. 医療・介護保険に関する情報収集；HJネット、医療・介護新聞及び独自のネットや雑誌等
2. 士会員への情報提供
 - ①士会ニュース及び士会ホームページ上での情報公開
 - ②保険部メーリングリストの情報の共有化
3. 士会員への保険相談；ホームページやメーリングリストによせられた相談への対応
4. 保険関連についての国、関連団体の会議・集会への参加及び会員への広報
5. 座談会の開催；2回／年
6. 保険関連講習会の開催(H19.12、H20.3を予定)

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 平成20年度第16回定期総会開催準備及び運営
2. 総会のあり方の検討

[学会評議委員会]

1. 平成19年度第38回後志学会の支援
2. 平成20年度第39回石狩学会の支援
3. 平成21年度第40回学会(札幌支部予定)の支援
4. 平成22年度第41回学会以降の学会運営方法の検討
5. 「学会運営手引き」の見直し
6. 平成19年度第38回後志学会の参加者の動向調査

[選挙管理委員会]

1. 平成19年度役員選挙の開催

[企画調整委員会]

1. 第二次長期10カ年計画の遂行状況の確認と修正
 - ・道士会40周年記念式典の実行委員会の設置
 - ・白書委員会の設置
 - ・市民無料相談窓口の設置
 - ・各種プロジェクトの実施に向けた部局調整
 - ・モデル事業の検討(公益事業、会員向け事業)
2. 緊急的且つ今日的課題への対応
3. 各部局間の調整

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 第二次長期10カ年活動計画に基づく規約の見直し作業
 - ・定款施行規則、謝金規程、儀礼交際費規程、文書公印管理規程の見直し
 - ・賛助会員規程の作成

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会会議の開催；第1回5月12日 第2回未定
2. 支部規約制定の援助
3. 各支部の年度活動報告・計画、年度会計報告・予算、及び活動状況の集約と調整
4. 部局・委員会と支部間の連絡調整
 - ・各支部における支部主催新人研修会の定着と支部主催講習会開催のサポート
 - ・公益事業の集約と事業化